

# Excelで散布図を描く

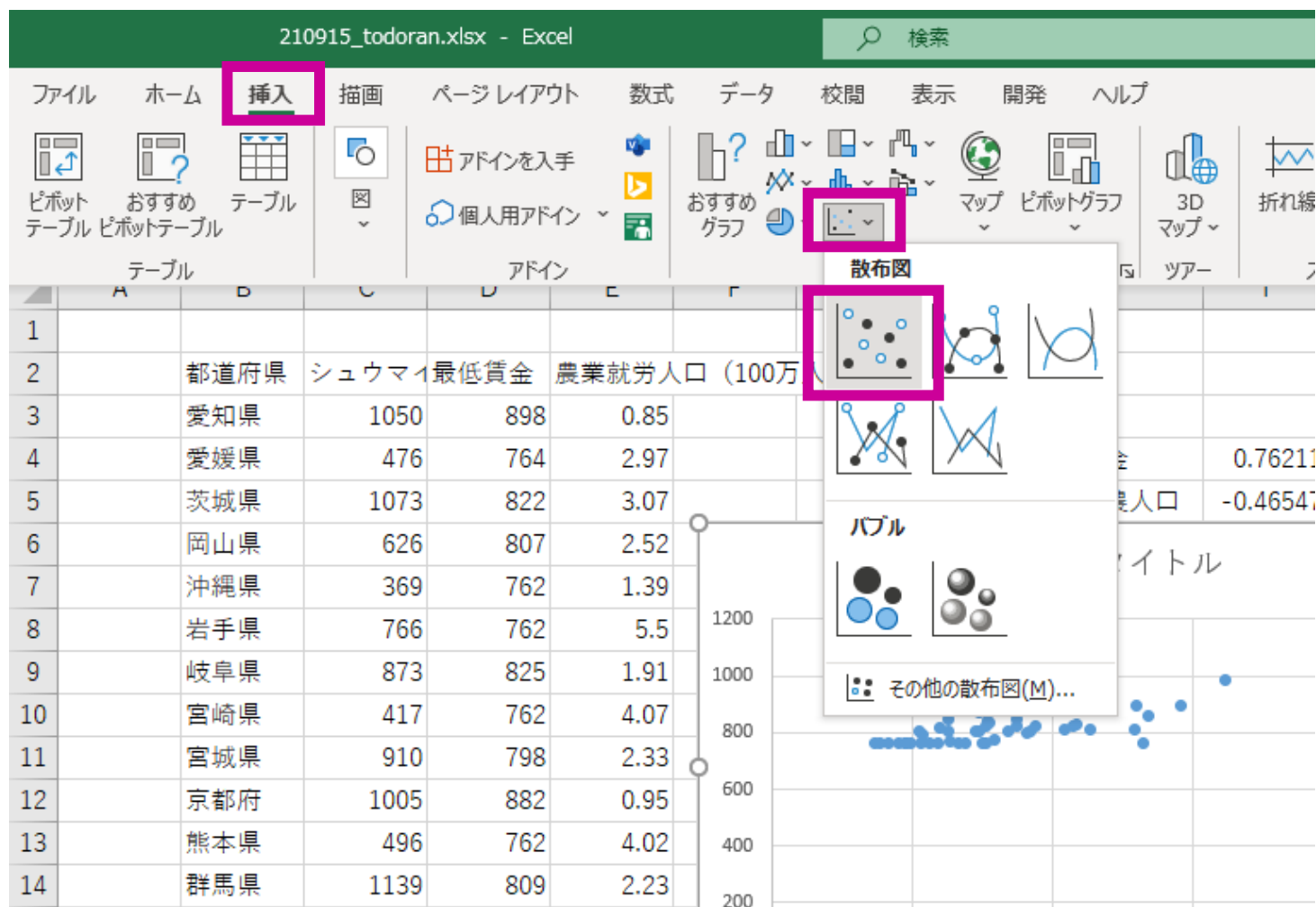
# 散布図を描きたいデータを選ぶ

下図の例のように、各項目(県名など)について、x軸とy軸にプロットしたい数値(シュウマイ消費量と最低賃金など)がペアになった表を用意します。

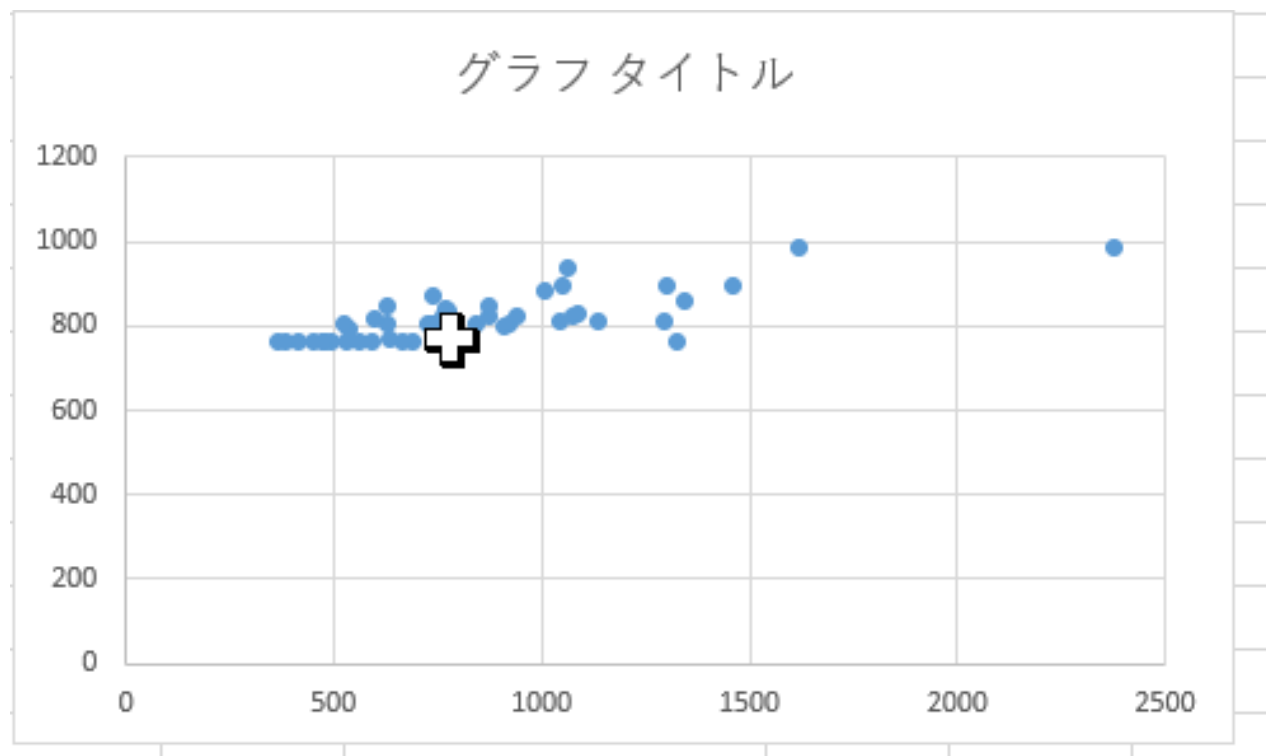
都道府県	シュウマイ消費量	最低賃金	農業就労人口 (100万人当た)
愛知県	1050	898	0.85
愛媛県	476	764	2.97
茨城県	1073	822	3.07
岡山県	626	807	2.52
沖縄県	369	762	1.39
岩手県	766	762	5.5
岐阜県	873	825	1.91
宮崎県	417	762	4.07
宮城県	910	798	2.33
京都府	1005	882	0.95
熊本県	496	762	4.02
群馬県	1139	809	2.23
広島県	628	844	1.33
香川県	539	792	3.11
高知県	533	762	3.73
佐賀県	1327	762	3.15
埼玉県	1462	898	0.81
三重県	872	846	1.87
千葉県	740	762	4.70

1)数値データの部分をドラッグして選択します。

2)「挿入」メニュー、「散布図」の中から、線のない散布図のアイコンを選びます。

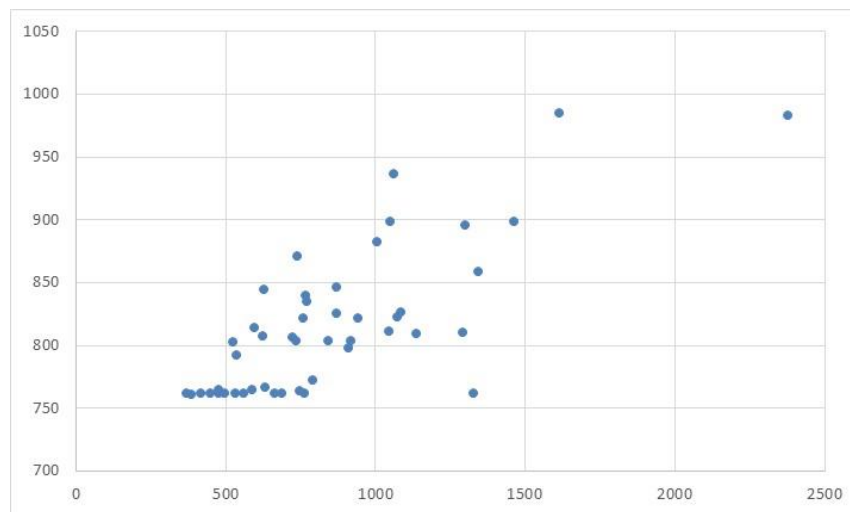
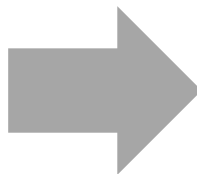
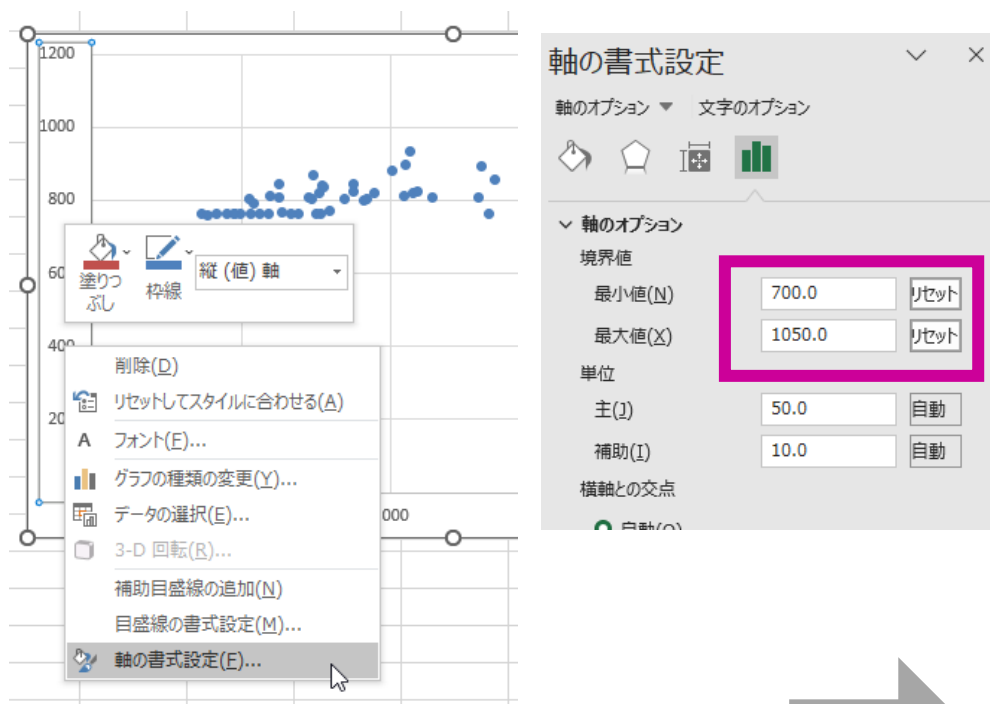


散布図が描かれました。



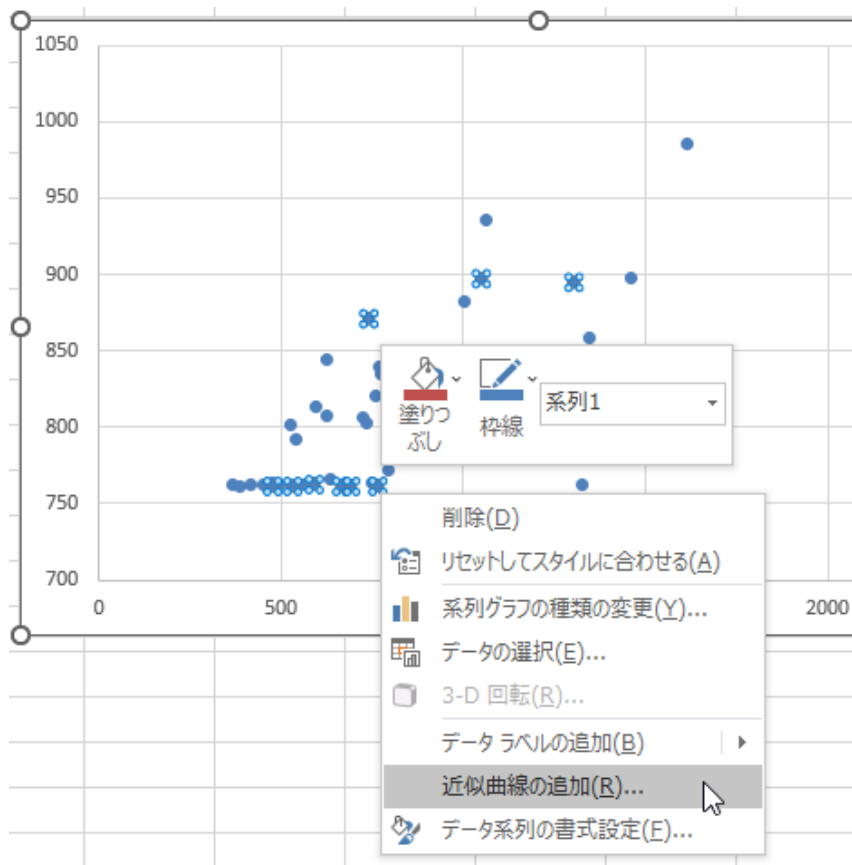
# 軸目盛の変更

散布図のx軸やy軸を右クリックして、「軸の書式設定」を選択し、表示する最小値や最大値を変更すると、データの散らばり具合を見やすく調節できます。



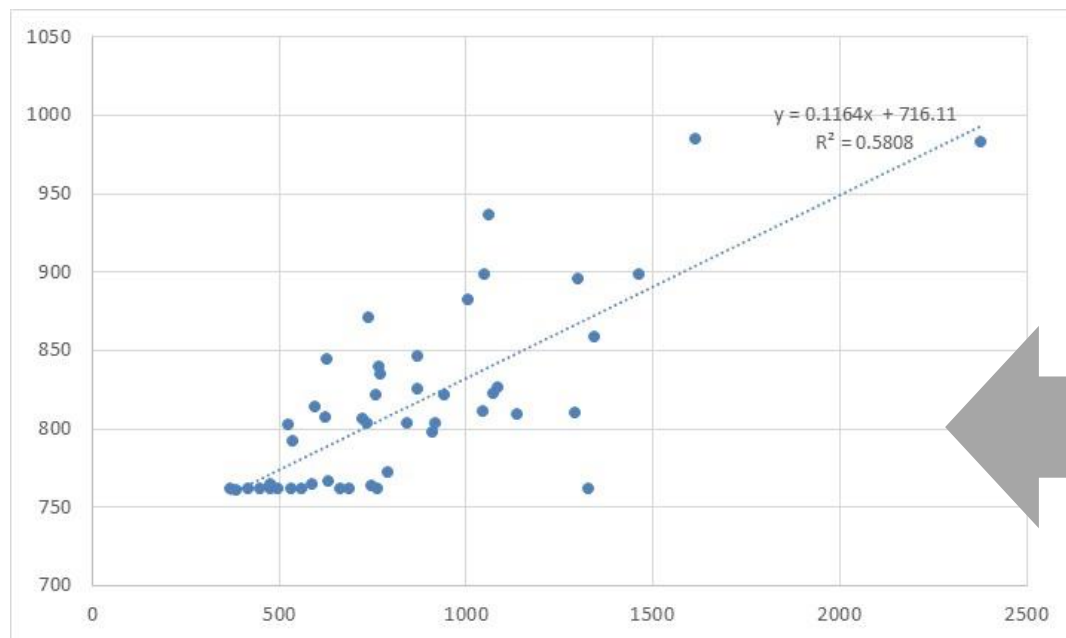
# 回帰曲線の描画

1) 散布図の中の点(データ)を一度左クリックしたのち、右クリックして出てくるメニューの中から、「近似曲線の追加...」を選択します。



2) 近似曲線の書式設定で、線形近似を選びます。

下部にある、  
「グラフに数式を表示する」  
「グラフにR-2乗値を表示する」  
にチェックをつけると、近似曲線の式とR<sup>2</sup>値が表示されます。



R<sup>2</sup>値は、相関係数ではないので注意！

### 近似曲線の書式設定

近似曲線のオプション ▾

📌 🏠 📊

▽ 近似曲線のオプション

☐ 指数近似(X)

☒ 線形近似(L)

☐ 対数近似(Q)

☐ 多項式近似(P) 次数(D) 2

☐ 累乗近似(W)

☐ 移動平均(M) 区間(E) 2

近似曲線名

☒ 自動(A) 線形 (系列1)

☐ ユーザー設定(C)

予測

前方補外(E) 0.0 区間

後方補外(B) 0.0 区間

☐ 切片(S) 0.0

☒ グラフに数式を表示する(E)

☒ グラフに R-2 乗値を表示する(R)